

大人の本の紹介 Adult's Books

荒地の家族

佐藤 厚志/著 ISBN 9784103541127

あの災厄から十年余り、男はその地を彷徨いつづけた。仕事道具もさらわれ、苦しい日々を過ごす40歳の植木職人・坂井祐治は、災厄の二年後に妻を病気で喪う。元の生活に戻りたいが、元の生活には決して戻らない。誰もが何かを失い、くすぶった境遇には変わらない。仙台在住の書店員作家が描く、被災地に生きる人々の、止むことのない渇きと痛み。第168回芥川賞受賞作。



付加価値のつくりかた

田尻 望/著 ISBN 9784761276362

いかにムダな仕事を減らし意味のある仕事に集中する。そして仕事の生産性を高め、売上や利益を効率よく増やしていく為に必要なのは「付加価値」である。

しかし、そもそも「付加価値」とは、定義とは何でしょう。重要な事とは知っていても分からない、あらゆるビジネス活動の根幹を支える「付加価値」を、本書が体系立てて分かりやすく解説します。誰でもどんな立場の人でも、最強スキルの「付加価値のつくりかた」を学び、生産性を上げ「最低限の教養」を身につけましょう。



最後の講義 完全版 上野千鶴子 これからの時代を生きるあなたへ

安心して弱者になれる社会をつくりたい

上野 千鶴子/著 ISBN 9784074494095

NHK人気番組「最後の講義」、「あなたは人生最後の日に何を語りますか」という問いに、社会学者の上野千鶴子さんの答えが載ります。放映後に大反響があった、上野千鶴子さんの講義の未放映部分を含む完全版を書籍化した本書は、すべての女性に勇気を与える1冊で、著者の「女性の幸せ」のための研究から、家事が不払い労働であること、家事・育児・介護・看護がすべて一人の女性の負担になっていることや、女性学・ジェンダー学の問題点や歴史もわかります。女性の労働に対して無理解だった社会にメスを入れた、著者からの熱いメッセージも必読です。



諦念後——男の老後の大問題

小田嶋 隆/著 ISBN 9784750517735

男の「定年」は「諦念」なのか？《ジジイだって、歳を取るのは初めての経験なのだ。許してほしい》老後で大切なのは、単純作業に身を投じること。男がトシを取るということは、自分が積み上げてきた凡庸さと和解することなのだ。小田嶋隆さんの幻の連載を1冊にした、「還暦を過ぎた男の気分や期待や虚栄や子供っぽさ」「定年後の男の身の持っていく場所やヒマのつづし方」「諦念と満足」などを軽やかに、またオダジマ節で軽快に綴るコラム集です。



地球の上に生きる

中矢 匡/著 ISBN 9784860373122

体育大学在学中、練習中の怪我で一ヶ月以上の寝たきりの生活を余儀なくされた時に、「日本中、世界中をこの足で歩きたい」という思いに突き動かされて以来、旅を重ねる人生を送っている。カンボジアの元少年兵との出会い、インドのカルカットでの路上生活者や物乞いをしてくる小さな男の子等、海外では日本ではまず起こり得ないことが日常的に起こり、改めて平和であることの意味を考えさせられた著者が、命の大切さを若者たちに伝えたいとの思いを込めた一冊。



エリックカール 絵本の秘密をさぐる

別冊太陽編集部/編集 ISBN 9784582946154

世界で愛される『はらぺこ あおむし』をはじめ、エリック・カールの絵本はどのように作り上げられていったのか等、制作の舞台裏やインタビューを通じ、色やしかけで魅了する絵本を手がけた『少しおもちゃであり、少し本』というものをつくりたい」という「絵本の魔術師」の創造の軌跡。

